

法政大学地理学会 2017 年度第 2 回例会（巡検）の案内

テーマ：荒川上中流の自然と人々の生活

－地質・地形、舟運および洪水対策－

日 程：11 月 18 日（土） 10：30～16：30

集合場所：秩父鉄道 秩父本線上長瀬駅改札前

集合時間：10：30

解散場所：埼玉県立川の博物館

解散時間：16：30

案内者：主に博物館での説明、プラス細田 浩、前杵英明、斉藤 圭

参加費用：一般 2,500 円 学生 1,500 円（交通費は除く）

定 員：最大 40 名

主な見学場所とタイムスケジュール

10：30 上長瀬駅改札前集合（徒歩）

↓

10：40～11：40 埼玉県立自然の博物館見学（徒歩）

↓

12：10～12：30 親鼻橋から長瀬ライン下り A コース

↓

12：30～13：50 長瀬駅周辺で各自昼食、散策

↓

14：05～14：37 長瀬～鉢形に鉄道で移動（徒歩）

↓

15：00～16：30 埼玉県立川の博物館見学（解散）

↓

17：05～17：59 鉢形～川越駅（希望者にて懇親会）

お願い 各目的地においては多少歩くと思います。川下りでは多少濡れる可能性もあります。そのような服装・靴でご参加ください。また、上記見学のタイムスケジュールはあくまでも目安です。途中、変更があり得ることをご理解ください。

第2回例会(巡検)のご案内

今年度の巡検は埼玉県荒川の上流(秩父)と中流の寄居あたりの地形や地質、またそれらをうまく利用した伝統的生業、また洪水対策の工夫などを主に博物館を利用して学習します。移動は鉄道と徒歩、また長瀬ライン下りでは舟を利用します。

地質や地形については、自然の博物館で見学するとともに、ライン下りで実際に目でみていただきます。ジオパークとなった秩父地域は、関東平野西方の関東山地の北東部にあたり、奥秩父山地、上武山地、外秩父山地および秩父凹地帯とに区分されます。「秩父凹地帯」を流れるメインの川が荒川ということになります。秩父地域は、明治時代から日本の近代地質学における数々の先駆的な研究が行われてきました。「秩父古生層」や「三波川結晶片岩」などの命名・研究をはじめ、日本列島の模式となる研究が展開されたことから、『日本地質学発祥の地』と呼ばれています。秩父盆地には新第三系が分布しています。約1,700万年前～1,400万年前の海底に積もったもので、地殻変動にともなう多様な堆積構造や、パレオパラドキシア、チチブクジラ、チチブサワラなど、多彩な化石群集を良好に保存しています。秩父盆地の荒川沿いなどには、高位(多摩期)・中位(下末吉期)・低位(武蔵野期～立川期以降)に大きく3区分される河岸段丘堆積物が見られます。これらの第四紀堆積物は、かつての荒川などが氾濫して堆積した礫層とその上位に重なるローム層などで構成されています。江戸時代から秩父は、金・銀・銅・鉛・亜鉛・鉄などの金属鉱石を産出していました。しかし、平成10年代の後半になると、結晶質石灰岩(大理石)を採掘するのみとなりました。

また、林産資源も豊富で荒川の水運を利用して、遠く江戸まで運搬していました。荒川中下流域は洪水も多く、有名な水塚という家屋は、濃尾平野の輪中集落と同様、洪水対策に知恵を絞った昔の人々の工夫が見られます。これらについては川の博物館で見学ができます。

学生の皆さんは地理学科に入学した時点で学会員になっています(通教学生は入会手続きが必要です)。大学の正規の授業だけでは得られない地域学習のチャンスをぜひご利用ください。

法政大学地理学会集会委員会

巡検の申し込み先

◎集会委員会メール : shukai@chiri.info

◎学会ウェブサイトからの申し込みフォーム

◎往復はがき：〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学文学
部地理学科 法政大学地理学会集会委員長 前杢英明 宛

締 切 : 10月30日(月)

- * 参加者は申し込みの先着順で決定します。40名に達した時点で募集は終了となりますので、参加を希望される方は上記宛先にお早めにお申し込みください。受付が完了した時点でメール返信（往復はがきの方ははがきにて返信）させていただきます。